



学校だよりNO40

令和5年 2月20日

児童数 487人

薫っ子 II



文責 校長 古川 次男

卒業式へ向けての準備が・・・

2月に入ったかな？と思ったら、今日は、もう20日です。3学期の時の過ぎ行く早さを、改めて感じずにはられません。

そのような中、まだまだ寒さのこたえる始業前の時間。6年生のみなさんが、続々と体育館に集合してきます。何をやっているのかというと、卒業式に歌う歌の練習です。1月下旬から取り組み始め、今ではずいぶんときれいな歌声が響いてくるようになりました。



卒業式は、6年生のみなさんが小学校で学習してきた成果を発揮する最大の行事であると思います。式場への入場、起立や礼の礼法、担任の呼名に対する返事、卒業証書の受け取り方・・・。主役たる6年生のみなさんが、立派に成長した姿を保護者の皆様に披露できるよう、学級担任を始めとする我々教職員もサポート体制を整えています。

卒業式の中でもメインとなる「呼びかけ」は、十分な練習が必要だと思います。そして、その中で披露する歌はまさに、感動のクライマックスとなるのではないのでしょうか。その大切な時に、緊張や別れの寂しさなどから声が出にくくなり、せっかくの歌声が聞き取れなくなってしまっては、ちょっぴり残念な気持ちになります。そういったことを想定して、6学年担任としては準備期間を長めに取り、「感動の卒業式」となるよう努力しているところです。

保護者の皆様にとっては、大震災の時に生を受けた我が子の節目となる大切な小学校の卒業式で、感慨深いものがあるのではないのでしょうか。3月23日には、親子ともども晴れやかな気持ちでその日を迎えることができるよう、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に気を配っていただければありがたいと思います。

はやまっ子 子ども語り部発表会

11日（土）に、中央公民館を会場として標記の会が実施されました。本校からは、14名の児童が参加し、上手に語りを聞かせてくれました。

約2時間にわたる発表会でしたが、しっかりと練習してきたらしく、客席の一人一人に語りかけるようにどの子も上手に発表することができました。普段の学校生活ではうかがい知ることのできない、新たな一面を見せてもらいました。

